

久木小だより

2023年7月20日 No.5

逗子市立久木小学校

逗子市久木2-1-1

873-2054

学校ホームページ

<https://www.city-zushi.ed.jp/e-hisagi/>



～健康に気を付けて夏を過ごしましょう～

明日から夏休みになりますが、健康に気を付けて過ごせるようにご家庭でもお話ししてください。新型コロナウイルスの感染者数が再び増加しています。体調が悪い時は無理をせず、よく休むようにしましょう。また、熱中症のリスクも高まる時期です。水分補給も忘れずに。

安全に気を付けて、楽しい夏休みを過ごしてください。



★課業期間外の校庭使用について

土・日・祝日、放課後を含め、学校の課業時間外に校庭に入り、遊ぶことは禁止されています。放課後などの遊びは、ふれあいスクールに登録していただき、そこを通して遊ぶようにしてください。土・日・祝日などでふれあいスクールの開設がなく、開放団体が校庭を使っていないときも、使用は禁止です。禁止にもかかわらず、遊んでいた場合は、学校は一切の責任を負えませんことをご了承ください。

★門扉の開閉について

警察からの指導により、課業時間中は、正門、東門、給食業者通用門、裏門を閉じさせていただきます。ご来校の際は開閉をさせていただきますよう、よろしくお願い致します。

★年度初めに学年懇談会でお配りしました、年間行事予定ですが訂正をお願いいたします。

3/22（金）が修了式になっていましたが、3/25（月）になります。

★明日より8月半ばまで校舎長寿命化にかかわる、ポーリング調査が始まります。

校庭にトラックや機材が入りますのでご承知おきください。



★器物破損の際の弁償について

公共物を大切にすることは、小学校の学習指導要領にも明記されており、道徳の時間だけでなく、日常の学習や活動の中でも子どもたちには伝えているところです。もちろん各ご家庭でも、ご指導されていることと思います。しかしながら、毎日、子どもたちが共同生活をする学校では、それほど頻繁ではないのですが、児童の過失による公共物の破損が発生することもあります。

そこで、毎年お願いしていることではございますが、学校の施設などについて、児童の過失による破損があった場合の弁償額についてお知らせいたします。

過失が100%の折は、全額を負担いただくようお願いいたします（修繕費が高額の場合は、相談いたします）。なお、児童に過失がない場合は、全額学校負担となりますが、過失の割合によっては、これまでと同様に教頭を交えて、学級担任などが事実関係を正確に把握したうえで、保護者の方にご報告・ご相談申し上げ、ご理解をいただいた上で、原則、学校とご家庭で1/2ずつ負担（保護者負担は一事案一家庭最大10万円を限度に負担していただく）とさせていただきます。

これは、逗子市教育委員会で定め、逗子市立小・中学校で共通のルールとなっております。なにとぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

★学年の様子★



担任に用事があり学校に来られるときは担任が出勤しているか事前に電話で確認の上、ご来校ください。



＜夏休みの連絡先＞

○逗子市立久木小学校 873-2054 (平日 8:30~17:00)

※8月14日(月)~17日(木)は学校閉庁日です。

※時間外・閉校日中のお問い合わせにつきましては、逗子市教育委員会へご連絡ください。

逗子市教育委員会 学校教育課 873-1111(内線517)

地域での安全安心に関わることは警察まで。

逗子警察 871-0110



校長室からこんにちは



子どもたちにとって、待ちに待った夏休みがやってきました。家族とどこかへ出かけることや家で好きなことをして過ごすなど、楽しみにしていることが沢山あるようです。こちらから聞かなくても朝の門や廊下などですれ違った時に話してくれます。

自分が担任をしていたとき、こんな話がありました。そのご家庭は夏休みの楽しい思い出をたくさん作ってあげたくて、親も子も楽しめる夏休みの計画を立て、旅行に行ったりいろいろなイベントに参加したりと、たくさんお出かけをして一緒に遊んだそうです。夏休みが終わりに近づき、夏休みを振り返る絵日記の宿題に取り掛かったところ、その子が書いたのは「友だちと庭で遊んだこと」でした。その保護者の方は、懇談会で「がっかりしました」とおっしゃっていました。参加していた保護者の方々は、共感したり驚いたり、また、悲しいけれどちょっと笑ってしまったりと、いろいろな反応があって盛り上がった話題でした。

「親の心、子知らず」ということわざがあります。このエピソードはまさにそれなのですが、最近の子ども達はとても優しく賢くて、大人に合わせてくれることがあります。特に、大好きなお家の方を心配させたくないという思いは強く、自分の思いを塗り替えたり、事実と違うことを話すこともあります。長い夏休みは、じっくりとお子さんたちと向き合うことのできる良い機会です。そして、子どもたちの心の中の「ホントの気持ち」を感じて見つける良い機会でもあります。この期間を上手に使って、親子の心の交流を楽しんで、過ごして行って欲しいと思っています。

9月、心身ともに成長し、元気な子どもたちに会うことを、教職員一同楽しみにしています。